

# 序

さきに設立した足利市教育の一般目標は、従来の教育目標が、地域社会の現実感に乏しく具体性に欠けていたという反省にもとづき、ほんとうに迫力のある教育活動を導き出すための目標としては、その設定手続きの中で地域社会にひそむ現実的課題を、われわれの力でつとめて具体的にとり出そうと試みた労作であったといえよう。すなわち、教育目標がうち出された母胎をなす教育課題の大小項目は、目標設定のために経てきた手続きの中で、もっとも切実な現実感と具体性をもたらし、われわれの教育活動に生彩を与えてくれたものと思われる。

更に、このたびは地域の教育課題が抽出される以前の生な素材が、教育研究所を中心として、現場の諸先生の協力を得、ここに「教育目標設定資料」として完結を見たことは、地域社会の実情に即した具体的教育の営みが、地域の現実を正しく認識することにより効果的に実現する上からもまことによろこびにたえないところである。

この資料は、教育課程作製上、特に適切な地域的学習素材を提供してくれるであろうし、また教科經營の上からも、学習指導の面にも数多くの地域の材料が得られることであろう。われわれがともすれば郷土資料乏しきを理由に、教科書資料のみによる一般的学習指導を展開し勝ちな現状に対し、この資料は或程度の示唆と方向づけを与えてくれるであろう。現場の先生方の活用を切に望むものである。

尚、この資料の完結にあたってあわせて述べておきたいことは、民主教育の支柱である教育の自主性と、地域の実情に即応する教育の地方化の精神にのっとって本市の教育目標が設定され、これが裏づけとしての基礎的調査並びにその教育的解釈づけの資料が完結を見て前述のような活用がはかられ、加えて足利市小中学校教育課程の作製がかなりの進捗を見せていることである。

かつて新教育はなやかなりし頃、地域社会の企画性（教育目標と教育課程）と実証性（基礎的実態調査）を強く要請したが、ここにわれわれは単なる理論的考察にとどまらず、地域教育の現実的要請にもとづいて足利市の実情に即した教育行政の重点施策として、企画性と実証性を実質的にみのらせることができたことは、足利市の教育行政史の上に一つの光彩を添えるものと確信するものである。

昭和三十一年三月十日

足利市教育委員会教育長 前島俊三

# 序

教育目標はすべての教育活動がそれに向つて集中していく焦点であり、あらゆる教育活動に浸透すべきものであつて、教育活動のいかなるものも目標意識なしには有効に営めない教育の根本となるべきものである。

この教育の目標もかつては教育勅語や法令に明示され教科書はそれにもとづいて教育の内容を規定した誠に中央集権的画一的なものであった。

然し終戦を契機として教育基本法学校教育法が制定され教育の基本目標が示され、更にその精神に基づいて文部省より学習指導要領一般篇が発行され、教育の一般目標が個人生活、家庭及び社会生活、経済及び職業生活の三領域にわたつて具体的に示されたが、尙普遍的抽象的である点において、それはあくまで国家的基準である。教育の主体性が呼ばれ民主化が唱えられるによんで各学校は自主的な立場に立つて、更にこれを検討して地域社会の課題と児童生徒の実態に即しその心身の発達段階を考慮した真に具体的な教育目標を設定し更には教師の手によって教育課程を編成すべきことが要請せられるに到つたのである。

本市教育委員会においては、本市の実情に即した教育の運営を計り、その進歩改善を目指して、足利市教育の一般目標の設定を計画し、昭和二十八年四月足利市教育の一般目標設定委員会を設け、昭和二十六年四月教育研究所開所以来のこれに関する基本的な調査研究資料並に目標設定のため特に実施した基礎調査を資料として昭和二十九年三月足利市教育の一般目標を設定発表した。この教育目標も結論的にみれば国や県が一般目標としてかけたものと大同小異ではあるがあくまで足利市という地域社会の調査研究に基づいた現実の資料に裏づけられているところにその具体性と地域性が存する訳である。

爾来二ヶ年全所員が一体となり微力を傾倒して本市の教育の一般目標を支えている龐大な裏付けとなる調査資料を研究整理し、ここに完結させることが出来たので刊行することにした。整理の結果は誠に不備欠陥が多く期待に副はぬ点が多々あるが、学校教育目標設定に、教育課程作成に、学習指導法の研究等の面に充分と活用され、いささかなりとも本市教育の刷新に役立つならば幸である。

終りにこの教育目標設定のためいろいろ御尽力下さった教育目標設定委員の方々、児童調査、社会調査に御協力して下さった学校の諸先生、各種団体の役員の方々、いろいろの資料を快く提供して下さった各官庁その他この研究に陰に陽に御援助御協力下さったすべての方々に心から感謝をささげる次第であります。

昭和三十一年三月十日

足利市教育研究所長 笠原清